

認定看護師の紹介

乳がん看護認定看護師 ふじい あいこ
藤井 愛子

この度、乳がん看護認定看護師の審査試験に合格しました。乳がん患者さんは「がんの告知」、「治療選択」、「ボディーイメージの変容」、「抗がん剤・放射線・内分泌治療中の副作用」、「再発の不安」、「終末期」等と長期にわたり様々な苦悩や不安を抱えることが多く、個々に応じた看護の必要性を痛感しています。乳がん看護認定看護師として、乳がん患者さんへより良い療養生活のために専門的ケア（ボディーイメージの変容に対してアピランスケアや補整下着など）の情報提供をすることによって、その人らしく、がんと共に生きていくことを支えることができるよう日々研鑽を積んでいきたいと思います。また、現在日本では女性の罹患率第1位で12人に1人が乳がん罹患すると言われ、増加傾向にあります。乳がんは早期に治療すれば治る可能性が高いので乳がん検診の啓発活動も行っていきたいと考えています。まだまだスタートラインです。これらの経験を一つ一つ大切にしながら乳がん看護を醸成していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



救急看護認定看護師 もりやま えみこ
森山 詠美子（写真：右）

2015年7月に救急看護認定看護師を取得しました。約8か月の認定教育課程では、講義実習に加え他分野との連携、組織における役割についても学ぶ機会となりました。救急看護は多種多様な疾病・外傷を有した患者さん、ご家族の方が対象となります。情報の限られた中で、確実に安全な救命技術やケアリングのある看護が提供できるように得た学びをスタッフにも伝達し共に実践し、救命救急センターの看護の質の向上に繋がるように努力して行きたいと思っています。



救急看護認定看護師 えんどう あつや
遠藤 篤也（写真：左）

救急患者さんは時間、場所、年齢などに関係なく、突然の病気や外傷により来院されます。私は、突然の出来事によって危機的な状態にある患者さん・ご家族の方に対し、質の高い看護を提供したいと考え資格取得を志しました。患者さん・ご家族の方に対する心のケアを大切にしていきたいと思っています。また、地域の皆様が安心して救急医療を受けられるよう、医師や救急隊をはじめ救急医療に関わる職種の方と連携を図っていききたいと思います。

島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

10月15日～11月14日		対象者： 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生		
開催日	時間	場所（★印 学外開催）	対象者	開催名
10/15(木)	9:30～11:30	外来・中央診療棟3階 カフェテリアムだんだん	一般	平成27年度 島根県がんびアサホーター相談会
10/21(水)	17:30～19:00	外来・中央診療棟2階 クリニカルアップセンター	看護師 助産師(2年目以降)	第6回 急変時対応セミナー
10/24(土)	13:00～15:00	社会医療法人昌林会 安来第一病院 新館	一般	平成27年度 島根県がんびアサホーター相談会
10/24(土)	15:00～17:30	ビッグハート出雲2F 茶のスタジオ	一般	第17回 神在月シンポジウム「がん心臓病の予防と最新治療」
11/ 1(日)	10:00～11:30	★パルメイト出雲4階 パルメイトホール	一般	第8回患者さんと家族のための関節リウマチ勉強会
11/ 8(日)	14:00～	★パルメイト出雲	一般	市民公開講座「むねやけ、便秘：あなどることなかれ」 第2回：むねやけ あなどることなかれ！
11/14(土)	14:00～17:30	医学部講義棟1階 国際交流ラウンジ	一般	平成27年度 プラッシュアップ 講習会in出雲
11/14(土)	14:00～20:00	★出雲大社	一般 医療 本学	出雲大社ブルーライトアップ・記念講演会

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



NEWS



CONTENTS

- 重症な喘息症状を緩和する「気管支サーモプラスティ」療法の導入について
- 認定看護師の紹介
- 島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報
- 「看護提供体制」が変わりました。

呼吸器・化学療法内科
 外来 TEL 0853-20-2381
 病棟 TEL 0853-20-2490
 医局 TEL 0853-20-2580
 FAX 0853-20-2580
 URL http://www.csj-sanin.net/shimandai_cancer/

重症な喘息症状を緩和する「気管支サーモプラスティ」療法の導入について

呼吸器・化学療法内科 診療科長 儀部 威
 講師 須谷 顕尚

重症の喘息に対する最先端治療「気管支サーモプラスティ」を保険診療下で導入

薬物治療だけでは症状をコントロールできない重症度の高い気管支喘息患者さんは、喘息発作の不安を抱え、日常生活が大きく制限されています。

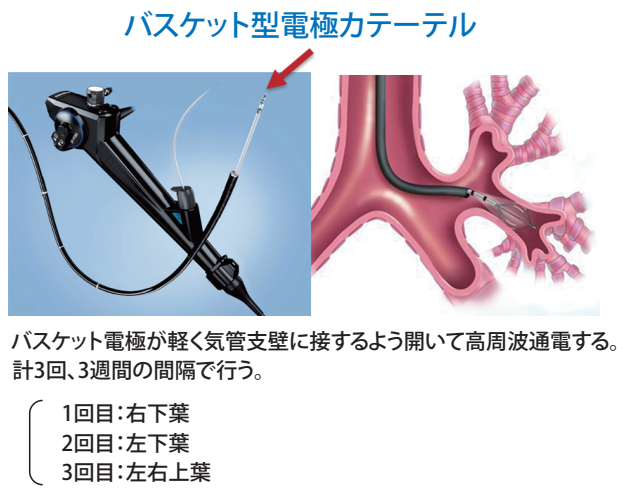
気管支サーモプラスティは、2015年4月より保険収載された新しい気管支喘息の治療です。実際には、気管支鏡を用いて、気管支壁を熱処理（細いバスケット型の電極カテーテルを挿入し、高周波電流で約60℃、10秒間気管支壁を温める）することにより喘息の気管支収縮の要因となる気道平滑筋量を減少させる治療法です。この結果、気道平滑筋の攣縮が減少して、喘息の症状や喘息発作が軽減すると考えられています。

処置は3週間の間隔を空け3回セットで行い、その際は入院が必要になります。術後は呼吸器専門医の下で、薬物治療による喘息症状の管理を継続します。対象は気管支鏡手技が可能な、高用量の吸入ステロイド薬及び長時間作用性β2刺激薬で喘息症状がコントロールできない18歳以上の重症喘息患者さんとなります。臨床試験の結果、増悪回数の減少、救急外来受診件数の減少効果が認められ、さらにその効果は5年後も持続します。薬で炎症を抑えるという、これまでの治療法とは全く発想が異なる治療法です。適応となる患者さんがいらっしゃいましたらぜひご相談ください。

外来診療日と担当医

- ① 儀部 威：日本呼吸器学会指導医、気管支鏡指導医
 ★ 毎週火曜日外来
- ② 須谷 顕尚：日本呼吸器学会専門医、日本アレルギー学会専門医、気管支鏡指導医
 ★ 毎週金曜日外来

問合せ先 内科外来 TEL 0853-20-2381



「看護提供体制」が変わりました。

看護部 看護部長 秦 美恵子

当院では、2009年福井大学医学部附属病院が開発されたパートナーシップ・ナーシング・システム(PNS)という新しい看護提供方式を今年度より導入しています。

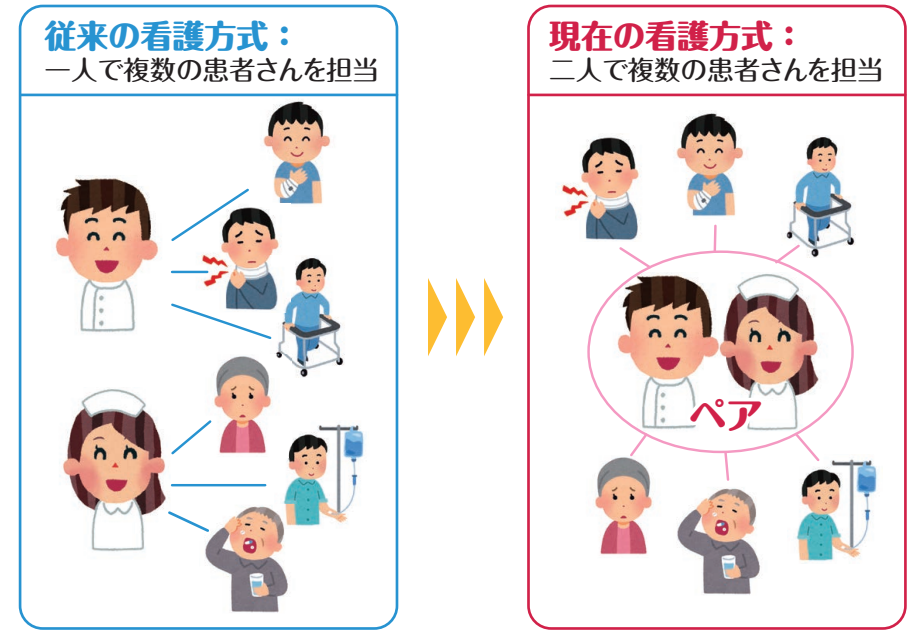
今までは、一人の看護師が、複数の患者さんを担当しケアしていましたが、看護師の経験によって観察や看護判断に差があったり、処置も一人で行い時間がかかっていました。

今回、導入したパートナーシップ・ナーシング・システム(PNS)は、2人の看護師で複数の患者さんの担当をすることが特徴で、年間のパートナーや日々のベアとなった看護師が受け持ち患者さんの情報交換を行いながら協働してケアを行う「二人三脚」方式です。

これは、患者さんの安心感が高まり、医師の指示や投薬の薬剤確認など誤薬、誤投薬のリスクの減少、迅速な急変対応が行えるなどの患者さんに安全で安心な看護を効率的に提供できるだけでなく、看護師双方の知識や技術を補完しながら実践的に学ぶことができ、人材育成にもつながるなど様々な効果を期待し導入しました。

成果を見いだすには、数年かかるといわれています。導入したばかりで、まだまだ改善すべきところは多くありますが、少しずつ成果がみえるようにして行きたいと取り組んでいます。

看護提供体制



▲ベアで情報共有し、リーダーに患者さんの状態報告



▲ベアで指示やケア内容の確認



▲ベアで観察しながらケア



▲各ベアのケア状況を確認し、業務調整



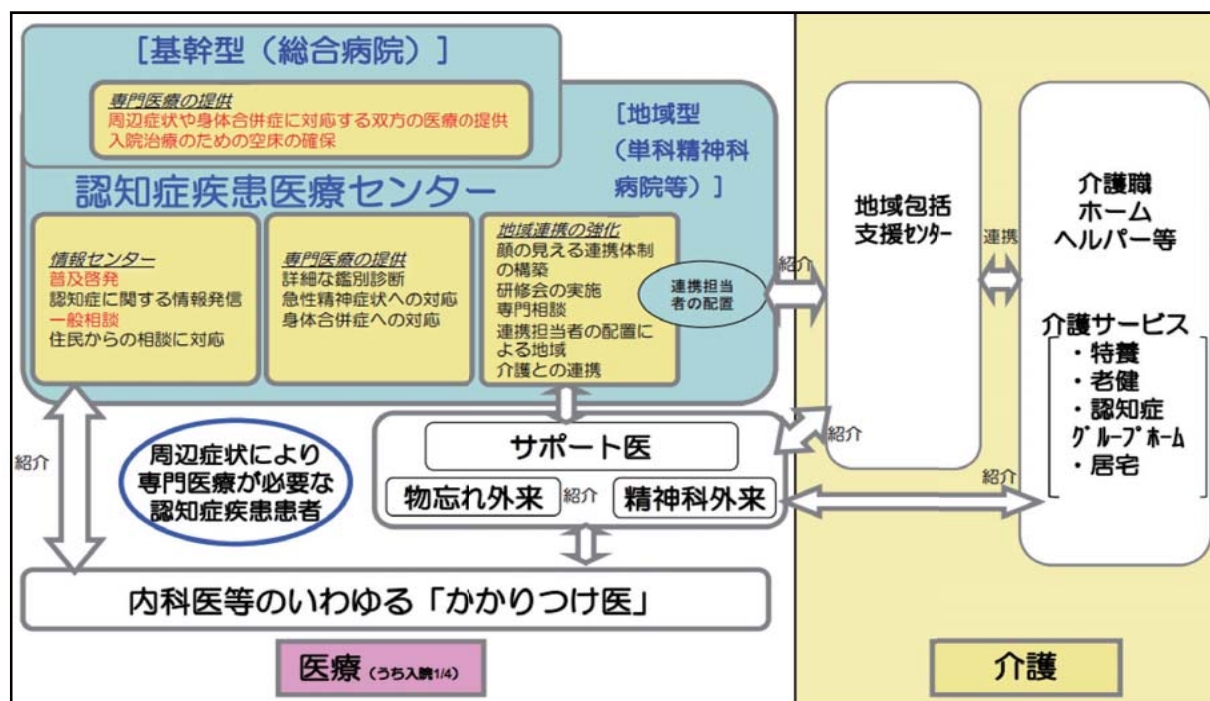
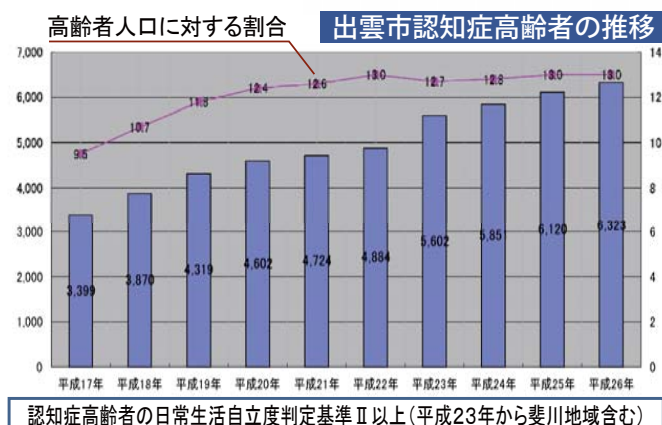
島大病院ニュース
2015年10月

お知らせ

認知症疾患医療センターが基幹型に指定されました

認知症疾患医療センター センター長 やまぐち しゅうへい
山口 修平

我が国における高齢化の進展と共に認知症患者さんは急増しており、65歳以上の7人に1人が認知症といわれています。このような中で本年1月に新オレンジプランが策定され、さまざまな取り組みがスタートしています。認知症疾患医療センターは、認知症に関する専門的な診断や初期対応、専門医療相談やかかりつけ医等への研修等を実施する医療機関として各都道府県に設置されています。当院は平成23年度に地域型センターとして指定を受けましたが、本年8月より県内全域を活動圏域とする基幹型センターとして指定されました。基幹型センターでは、従来の活動に加え、入院治療のための空床を確保しながら、周辺症状や身体合併症に対応する専門的医療の供給を行う事になります。10月から新たに安来第一病院と松ヶ丘病院が地域型センターとして指定を受けました。今後、当院は地域型センターと協力しながら、県全体の認知症医療供給体制の拠点として活動を展開していきますので、ご紹介をお願いいたします



問合せ先 認知症医療相談室 TEL：0853-20-2630



平成27年10月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース
2015年10月

お知らせ

「看護専門外来」をご存知ですか？

糖尿病看護認定看護師 いしかわ まりこ
石川 万里子



看護専門外来は2007年に開設されました。2013年から在宅ケア室が4室となり、患者さんの様々な相談に応じています。現在開設している分野は「リンパ浮腫ケア」、「がん看護」、「ストマケア」、「糖尿病看護」、「糖尿病フットケア」、「糖尿病透析予防」、「自己注射支援」です。患者さんの外来主治医からの指示で看護ケアを提供しています。慢性疾患と共に生きる患者さんが、その方らしく生活できるよう、ご自宅での自己管理方法の説明や工夫、困り事の相談に応じます。

糖尿病フットケア外来では、足病変ハイリスクの糖尿病患者さんの足病変予防、早期発見、再発防止のためのケア及びセルフケア支援を行っています。「足」について話をしていると、「足」から生活や身体状況が見えてきます。自宅でどんな座り方をしているか、どんな履き物を多く履いているか、歩行姿勢など多くの情報が分かります。過角化、胼胝などの足病変ケアだけでなく、その原因になることや日常生活の中で取り入れやすいセルフケア方法を一緒に考えます。

糖尿病フットケア外来の主なケア内容

セルフケア支援
☆5W1Hまで具体的に話合う

足の洗い方
爪の切り方
スキンケア方法
フットウェアの選択方法
歩行・運動に関するアドバイス

直接ケア

爪切り（過去の外傷・白癬等で肥厚、変形している爪など）
角質除去
胼胝削り

看護専門外来週間表

	月	火	水	木	金
在宅ケア指導室 1		(午前) リンパ浮腫ケア		(午前) リンパ浮腫ケア	
在宅ケア指導室 2	がん看護	がん看護	がん看護	がん看護	がん看護
在宅ケア指導室 3		(午前) ストマケア		ストマケア	
在宅ケア指導室 4	(午前) 糖尿病看護 糖尿病フットケア 透析予防 自己注射支援	糖尿病看護 糖尿病フットケア 透析予防 自己注射支援	糖尿病看護 糖尿病フットケア 透析予防 自己注射支援	糖尿病看護 糖尿病フットケア 透析予防 自己注射支援	糖尿病看護 糖尿病フットケア 透析予防 自己注射支援

問合せ先 看護専門外来：0853-20-2547



平成27年10月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2015年10月

お知らせ

島大病院では

幅広い疾患領域に対する 治験を実施しています！

当院は、治験推進施設として、内科・皮膚科・泌尿器科・精神科・眼科・麻酔科・産科婦人科・耳鼻咽喉科など、様々な領域の治験を実施しています。

治験に関する情報は、ホームページ

<http://www.shimane-u-tiken.jp/> で公開していますが、創薬ボランティア(治験にご協力いただける方)を募集している治験について、一部、ご紹介いたします。



～呼吸器・化学療法内科領域～

試験名	対象疾患	主な選択基準	主な除外基準	治験参加期間	募集期間(予定)
COPD患者を対象としたチオトロピウム＋オロダテロールのCOPD増悪に対する効果を評価する第Ⅲ相試験	COPD	☐ 年齢40歳以上 ☐ COPDと診断され、以下の基準をすべて満たす ・気管支拡張薬吸入後の1秒量が予測値に対して60%未満 ・気管支拡張薬吸入後の1秒率が70%未満 ☐ 全身性ステロイドの使用および/または抗生物質の使用、および/または増悪での入院を必要とする、中等度から重度のCOPD増悪が過去12ヵ月間に1回以上ある ☐ 10 pack year を超える喫煙歴を有する喫煙者又は元喫煙者	☐ 喘息の合併 ☐ 以下の状態にある ・甲状腺機能亢進症、直近6ヵ月間に心筋梗塞の既往がある、生命を脅かす不整脈症状がある、活動性の結核、過去5年以内に悪性腫瘍(基底細胞癌、扁平上皮癌を除く)の既往がある、嚢胞性線維症の既往がある、明らかな気管支拡張症を有する、直近6ヵ月間に器管内挿管を有する重度の肺気腫がある ☐ アルコール依存又は薬物乱用の既往 ☐ 開胸術による肺切除を受けた経験がある ☐ 経口及び貼付β刺激薬を投与されている ☐ 閉塞隅角緑内障又は前立腺肥大症などによる排尿障害を有する	約56週間 治験薬吸入期間：約52週間	2016年2月末まで
COPD患者を対象としたMEDI563/KHK4563の第Ⅲ相臨床試験	COPD	☐ 組み入れ時に40歳以上85歳以下 ☐ 中等症から最重症のCOPDとの臨床診断を受けている ☐ 過去52週間以内に、コルチコステロイドの全身投与および/または抗生物質による治療を要した中等度のCOPD増悪が2回以上、または24時間以上の入院を要した増悪が1回以上あった ☐ 1日1箱10年相当以上の喫煙歴のある喫煙者または喫煙経験者	☐ COPD以外の臨床的に重要な肺疾患を合併している ☐ 主要/主診断が喘息	64週間 治験薬使用期間：48週間	2016年7月末まで
喘息患者を対象としたCAT-354の有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相試験	喘息	☐ 20歳以上～75歳以下 ☐ ICSとLABAを3ヵ月以上併用 なお、ICSの用量はフルチカゾンプロピオン酸ドライバウダー吸入製剤で500μg/日以上に相当する ☐ 同意取得前の12ヶ月以内に2回以上、全身性ステロイド薬(経口、懸濁剤、注射剤)による治療を必要とする喘息増悪を起こした方 ☐ 治験参加時のスクリーニング検査でFEV1が正常予測値の40%以上かつ80%未満 ☐ 治験参加時のスクリーニング検査で気管支拡張薬吸入後にFEV1が12%以上かつ200mL以上改善し気道可逆性を示す ☐ 治験参加時の喘息管理質問票(ACQ-6)スコアが1.5以上	☐ 気管支喘息以外の肺疾患に罹患している(例:COPD) ☐ B型肝炎、C型肝炎、HIVウイルスに罹患している ☐ 現喫煙者又は10pack-year以上の喫煙歴を有する	78週間 治験薬使用期間：52週間	2016年6月末まで

該当する患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひ、当院へご紹介いただきますようお願いいたします。

問合せ先 臨床研究センター治験管理部門

TEL : 0853-20-2492 FAX : 0853-20-2495 E-mail : tiken@med.shimane-u.ac.jp

お知らせ

島大病院ニュース

平成27年10月発行

編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会

問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当

TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2015年10月

お知らせ

第8回島大総合医セミナー

飯塚病院 総合診療科

清田雅智先生を招いて

この度、第8回島大総合医セミナーを開催致します。前回に引き続き、飯塚病院 総合診療科 清田雅智先生をお招きしてレクチャーと症例検討を行ないます。多数のご参加と活発な討論をお願い致します。

参加費
無料

事前申し込みは
不要です。

平成27年

11月6日(金)

18:00~20:00

於：国際交流ラウンジ(講義棟1F)

1. レクチャー

『UTI and Gram stain』

60分

2. 症例検討

60分

※11月6日のセミナーは島根県医師会指定の生涯教育講座 **2単位** です。



11月7日(土) 9:00~12:00

・ER実地研修

今回も当院ERに於いてwalk in patientを対象とする実地診療指導を行ないます。要領は6日のセミナー時に説明します。

本セミナーは、文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業“リサーチマインドを持った総合診療医の養成”」の一環として、継続的に開催いたします。島根における総合診療・救急医療のさらなる発展を目指して皆様のご意見、ご提案をお寄せください。

主催：島根大学医学部附属病院 / 島根大学医学部医師会

問合せ先 (当番世話人)：呼吸器・化学療法内科 粟屋幸一 TEL:0853-23-2111(代) 内線:2580

お知らせ
島大病院ニュース

平成27年10月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL:0853-20-2068 FAX:0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース
2015年10月

お知らせ

第7回

救急医学講演会



とき

平成27年**10月20日(火)**

18:00~19:30

ところ

島根大学 医学部 臨床大講堂

司会

救急医学講座
にしな まさよし
仁科 雅良 教授

演題1

救急診療：胸痛、動悸、呼吸苦、倦怠感、失神

島根大学医学部 救急医学

こだに のぶひろ
小谷 暢啓 講師

演題2

救急診療：外傷症例を中心に

島根大学医学部 救急医学

たきなみ よしかず
瀧波 慶和 准教授

※この講演会は島根県医師会指定の生涯教育講座 **1.5単位** (申請中)です。

主催

島根大学医学部 救急医学

島根大学医学部 医師会

Tel / Fax:0853-20-2402
E-mail:qqigaku@med.shimane-u.ac.jp

Tel:0853-20-2176
E-mail:keiunkai@icv.ne.jp

お知らせ
島大病院ニュース

平成27年10月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL:0853-20-2068 FAX:0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

